

全国に広がる37団体の プロフェッショナル・オーケストラ



日本のオーケストラ 2020

多くの人々に支えられる活動

日本のオーケストラは明治時代に西洋文化を取り入れた時期より活動をはじめ、多くの先達の情熱と努力によって発展し、受け継がれて参りました。2018年度には全国のプロフェッショナルオーケストラ37楽団は3700回を超える公演を開催し、410万人以上の方々にオーケストラ音楽をお届けしました。一つ一つの公演は沢山の方に支えられ、演奏できているものです。これからも一人でも多くの方々へオーケストラ音楽をお届けできるよう演奏活動を続けて参ります。



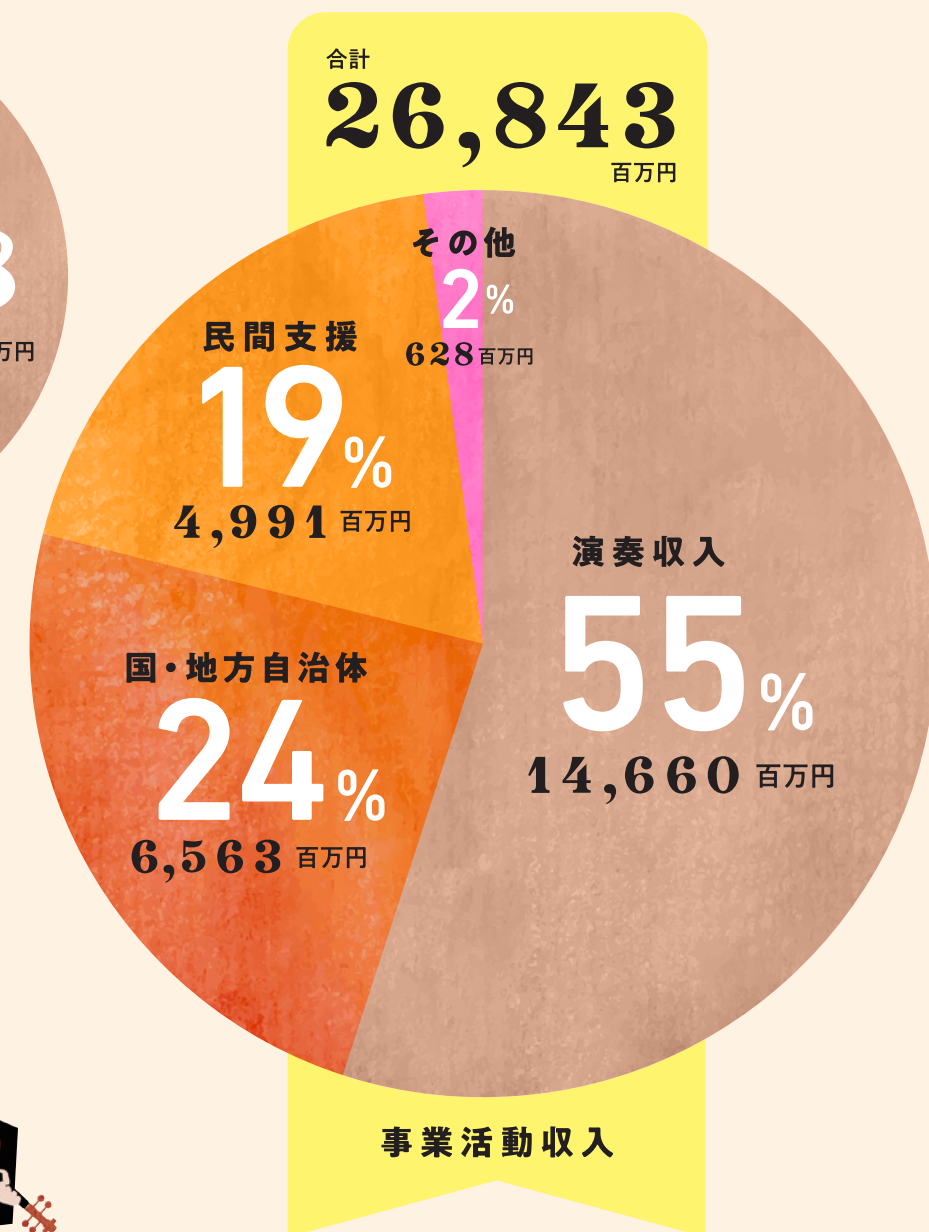
3,879回

総公演数

2018年度の活動

約411万人

総来場者数



被災地と共に

大地震が多発するわが国において、オーケストラが中心基地となり、防災直後から数か月、数年が経った現在に至るまで被災地に音楽をお届けする活動を続けています。現場ではどのように届けられ、役立てられていたのか、実体験の共有と検証を繰り返し、心の復興支援がスムーズに進められるよう支援体制の構築に取り組んでいます。



日本センチュリー交響楽団



群馬交響楽団

オーケストラ体験の驚くべき影響力

「オーケストラは子どもたちにどんな影響をもたらしているのか」2015年よりオーケストラ連盟では目に見えないものを可視化するプロジェクトを続けております。オーケストラが訪問している小学校のご協力のもと、4千人以上の小学生にアンケート調査を行い、17歳から49歳までの400名の方々にはインターネットでの調査にご協力を頂きました。その結果は私どもの想像を遥かに超えて大きな影響を及ぼしていることを表すものでした。今後も注意深くこのプロジェクトを続け、未来を担う子どもたちへ芸術体験を大切に届けて参ります。